

事後評価結果（平成17年度）

当 課：中国地方整備局道路部道路計画課
当課長名：田村 央

事業名	一般国道2号 <small>たましま</small> 玉島バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	白：岡山県倉敷市大西 至：岡山県倉敷市玉島阿賀崎	延長	9.3 km		

事業概要

一般国道2号は、大阪市を起点とし、瀬戸内海沿岸の諸都市を連絡し、北九州市に至る延長約680kmの主要幹線道路である。玉島バイパスは、倉敷市大西から倉敷市玉島阿賀崎に至る延長9.3kmの道路である。

事業の目的・必要性

玉島バイパスは、一般国道2号の交通混雑の緩和、沿道地域の環境保全や都市機能の充実、地域経済の発展を図るもので、広域交流の促進及び地域の活性化に大きく寄与することを目的として計画された道路である。

事業概要図



事業の 効果等	事業期間	事業化年度：S47年度 都市計画決定：S47年度	用地着手：S49年度 工事着手：S52年度	供用年：(当初) — / — (暫定/完成) (実績) H14 / —	変動	— 倍
	事業費	計画時 (名目値) — / — 億円 暫定/完成 (実績値) — / — 億円	実績 (名目値) 511 / — 億円 暫定/完成 (実績値) — / — 億円		変動	— 倍
	交通量 (当該路線)	計画時 暫定/完成	実績 (暫定/完成)	49,000 / — 台/日	変動	— %
	旅行速度向上 (供用前現道→当該路線)	25.9 → 45.5 km/h (供用直前年次) S58年度 (供用後年次) H17年度	交通事故減少 (供用前現道→供用後現道)	— → — 件/億台キロ (供用直前年次) 年度 (供用後年次) 年度		
	費用対効果分析結果 (当初)	B/C : —	総費用 : — 億円 (事業費 : 億円 維持管理費 : 億円)	総便益 : — 億円 (走行時間短縮便益 : 億円 走行経費減少便益 : 億円 交通事故減少便益 : 億円)	基準年	— 年
	費用対効果分析結果 (事後)	B/C : 5.4	総費用 : 1,104 億円 (事業費 : 511 億円 維持管理費 : 114 億円)	総便益 : 5,913 億円 (走行時間短縮便益 : 5,102 億円 走行経費減少便益 : 653 億円 交通事故減少便益 : 158 億円)	基準年	H17年
	事業遅延によるコスト増	費用増加額 : — 億円	便益減少額 : — 億円			
	事業遅延の理由	特になし				

	<p>客観的評価指標に対応する事後評価項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ●円滑なモビリティの確保・・・渋滞損失時間の削減、旅行速度の向上、新幹線駅及び岡山空港へのアクセスの向上が図られる。 ●国土・地域ネットワークの構築・・・日常活動圏中心都市へのアクセスの向上が図られる。 ●安全で安心できる暮らしの確保・・・三次医療施設へのアクセス向上が図られる。 ●都市の再生・・・新倉敷駅南第一土地区画整理事業及び新倉敷駅南第二土地区画整理事業による沿道まちづくりとの連携。 ●災害への備え・・・緊急輸送道路の指定、山陽道との並行路線 ●地球環境の保全/生活環境の改善・保全・・・環境（大気質）の改善がはかられる。 <p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>特になし</p>
<p>事業による環境変化</p>	<p>環境影響評価に対応する項目</p> <p>玉島バイパス供用後、大気質の改善が図られる。</p> <p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>特になし</p>
	<p>事業を巡る社会経済情勢等の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・S50.3 山陽新幹線 新倉敷駅開業【岡山～博多間開業】 ・S61.2 新倉敷駅南第一区画整理事業 工事着手 ・S63.3 山陽自動車道（早島～福山東）供用 ・H3.3 瀬戸中央自動車道 全線供用 ・H5.3 山陽自動車道（岡山総社～倉敷JCT）供用 ・H6.12 新倉敷駅南第二土地区画整理事業 工事着手 ・H15.4 特定重要港湾指定（水島港）
	<p>今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性</p> <p>事業に伴う整備効果の発現がみられることから、今後の再事後評価および改善措置の必要性はないと考えられる。</p>
	<p>計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性</p> <p>特になし</p>
	<p>特記事項</p> <p>特になし</p>

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。